

260年ほど前…

盛岡にも河童が住んでいたそうです



二六〇年ほど前：

北上川・夕顔瀬橋際に「夕顔瀬かっぱ」が棲んでいました。時々この近くに住むお百姓さんの馬に悪さをし、溺死させたりもする悪いかっぱで、「この野郎」とこん棒を持ったお百姓さんに散々叱られると両手を合わせて「どうか許してください。私は馬冷やし場に棲んでいるかっぱです。許してください。今後夕顔瀬橋から上流の『手掛けの松』までは、一切いたづらをしてません」と約束しました。

その後この地域には「かっぱ」が出ることもなくなり、溺死する「馬」もいなくなりました…というお話。

岩手県各地には、この「駒引き河童」のお話があちらこちらにあります。

二〇一一年八月十五日

みちのく岩手かっぱ村村長

(案内板の文章を一部改削しています)

